



日本語教育FD 研修会実施報告 (2018.1 ~ 2018.12)

著者	ヴァンバーレン ルート
雑誌名	筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育論集
巻	34
ページ	83-83
発行年	2019-03-26
URL	http://doi.org/10.15068/00154899

日本語教育研修会 (2018.1 ~ 2018.12)

日本語教育FD研修会実施報告

CEGLOC FD 委員 Vanbaelen Ruth

CEGLOC 日本語教育部門では、各コースで開講している日本語クラスのレベル及び技能間でのアーティキュレーションを円滑にし、授業の質を保つことを目的として、日本語教育部門の専任教員及び非常勤講師を対象とした研修会を年に2回実施している。「日本語教育FD研修会」として実施されるのは本年で2年目となり、名称が定着しつつある。本年は、次の通り行った。

- 1) 2018年2月16日(金) 9:30~18:00 出席者: 39名
- 2) 2018年8月8日(水) 9:30~18:00 出席者: 38名

両日とも、CEGLOC 日本語教育部門で開講している、集中日本語、補講日本語、総合日本語、外国語としての日本語、G30日本語、JEP (Japan-Expert Program) 日本語のコースごとに時間を設け、そこでの教授内容、教授法、スケジュール、評価方法、学生への対応など、授業のレベルや技能の観点から議論し、そこから得た当該学期の反省を次学期にいかにか活かすか活発に議論した。

上述の「情報交換型」の研修会をそのまま継続するか、情報交換するとともにより実質的なファカルティ・ディベロプメントへ移行するか、現在の検討課題である。